

間拔けな亭主

- 1 間拔けな亭主が戻ってくる
と
間拔けな亭主が戻ってくる
と
鞍をかけた馬がいました
そんな馬など 家にはいないはず
- 2 「いったいこれは どういうわけで 女房どの
いったいこれは どういうわけで
この馬が どうしてここに
わしの許しも受けないで」
(レチタテイーボ) 「馬ですって」
「そうだ 馬だよ」
- 3 「間拔けな人ね
よく見てごらん
おっかさんが贈ってくれた
でっかい雌豚じゃない」
「でっかい雌豚だって」
「そうよ 雌豚よ」
- 4 「いままであちこち出かけて行って
いろんな地方くはをみてきたが
豚の背中に鞍なんて
まったく見たこともない」
- 5 間拔けな亭主が戻ってくると
間拔けな亭主が戻ってくると
ジャックブーツがありました
そんなブーツなど 家には無いはず
- 6 「いったいこれは どういうわけで 女房どの
いったいこれは どういうわけで
このブーツが どうしてここに
わしの許しも受けないで」
「ブーツですって」
「そうだ ブーツだよ」
- 7 「間拔けな人ね
よく見てごらん
おっかさんが贈ってくれた

でっかい水差しじゃない」

「水差しだって」

「そうよ 水差しよ」

8 「いままであちこち出かけて行って

いろんな地方くをみてきたが

銀の拍車の水差しなんて

まったく見たこともない」

9 間拔けな亭主が戻ってくる

と 間拔けな亭主が戻ってくる

と 剣が一本ありました

そんな剣など 家には無いはず

10 「いったいこれは どういうわけで 女房どの

いったいこれは どういうわけで

この剣が どうしてここに

わしの許しも受けないで」

「剣ですって」

「そうだ 剣だよ」

11 「間拔けな人ね

よく見てごらん

おっかさんが贈ってくれた

オートミールのまぜ棒じゃない」

「まぜ棒だって」

「そうよ まぜ棒よ」

12 「いままであちこち出かけて行って

いろんな地方くをみてきたが

銀の取っ手のまぜ棒なんて

まったく見たこともない」

13 間拔けな亭主が戻ってくる

と 間拔けな亭主が戻ってくる

と 白粉おしろいついたカツラがありました

そんなカツラなど 家には無いはず

14 「いったいこれは どういうわけで 女房どの

「いったいこれは どういうわけで
このカツラが どうしてここに
わしの許しも受けないで」

「カツラですって」
「そうだ カツラだ」

15 「間拔けな人ね

よく見てごらん

おっかさんが贈ってくれた

卵を抱いた雌鶏めんどりじゃない」

「卵を抱いた雌鶏めんどりだつて」

「そうよ 卵を抱いた雌鶏めんどりよ」

16 「いままであちこち出かけていつて

いろんな地方くをみてきたが

卵を抱いた雌鶏めんどりが 白粉おしろいつけているなんて
まったく見たこともない」

17 間拔けな亭主が戻ってくると

間拔けな亭主が戻ってくると

大きな上着がありました

そんな上着など 家には無いはず

18 「いったいこれは どういうわけで 女房どの

いったいこれは どういうわけで

この上着が どうしてここに

わしの許しも受けないで」

「上着ですって」

「そうだ 上着だ」

19 「間拔けな人ね

よく見てごらん

おっかさんが贈ってくれた

毛布じゃない」

「毛布だつて」

「そうよ 毛布よ」

20 「いままであちこち出かけて行って

いろんな地方をみてきたが
ボタンのついた毛布なんて
まったく見たこともない」

21 間拔けな亭主が奥の部屋に入ってゆくと

間拔けな亭主が奥の部屋に入ってゆくと
がっしりとした男がいました
そんな男など 家にはいないはず

22 「いったいこれは どういうわけで 女房どの

いったいこれは どういうわけで
この男が どうしてここに
わしの許しも受けけないで」

「男ですって」

「そうだ 男だ」

23 「あき盲めくらね

よく見てごらん
おっかさんが寄こしてくれた
新しい乳搾ちらしぼりの娘じゃない」

「娘だって」

「そうよ 娘よ」

24 「いままであちこち出かけて行って

いろんな地方をみてきたが
あごひげ生はやした娘など
まったく見たこともない」

(山中光義訳)